



発行日：平成26年7月1日
発行者：市原市更級5丁目1-51
市原市立中央図書館
よくよむ
TEL 0436 (23) 4946
http://www.library.ichihara.chiba.jp

夏がきた!!



図書館を活用しませんか!?

今年も暑い夏が来ました。夏休みももうすぐです!
長いお休みを、「図書館」を活用して有意義に過ごしてみませんか?

図書館の閲覧席を利用したい!

7月22日(火)から8月31日(日)の個人閲覧席(No.31~47)については、以下の方法による先着順でのご利用(事前予約不可)となります。なお、6人掛けテーブル席は、受付不要でご利用いただけます。

- 開館前の受付は、午前9時15分から正面入口で行います。
- 開館後は、中央カウンターで受け付けます。
- 受付時にお渡しする「座席カード」の番号席をご利用ください。
- ※ 公民館等の閲覧席・学習室の利用方法については、各施設へ直接お問い合わせください。



夏休みの課題が出たのですが、何をしたいかわかりません…。



図書館には自由研究や工作等の参考となる本があります。また、読書感想文コンクールの課題図書(全国・千葉県)コーナーも設置しますので、1度ご覧になってみてはいかがでしょうか?
なお、課題図書は夏休み期間に利用が集中するため、以下のとおりとさせていただきます。

- 貸出・予約 1枚のカードで2冊まで
- 貸出期間 2週間(延長不可)



夏休み期間中にイベントはありますか?

映画会とおはなし会が予定されています。ぜひ、ご参加ください。

映画会(上映30分前から受付・先着50名) ※上映タイトル等の詳細は、視聴覚カウンターへご確認ください。		おはなし会
<大人向け> 8月5日(火)・7日(木) ▶ 1日2回(10時・14時)	<子ども向け> 7月25日(金) 8月1日(金)・8日(金)・22日(金) ▶ 1日2回(10時30分・14時)	7月2日(水)・16日(水) 8月6日(水)・20日(水) ▶ 15時までに児童室に集合



図書館を利用される皆様へのお願い



図書館では節電・省エネにより、空調設定温度を28度とし、職員はクールビズでの対応をいたしております。ご理解・ご協力をお願いいたします。また、館内の冷水機コーナーを利用する、図書館へは軽装で来るなどして、体調にも十分ご注意ください。



開催報告

たくさんのご参加、ありがとうございました。
 主なイベントをご紹介します。

開催日：平成26年4月22日～5月15日

スペシャルおはなし会



町田也真人選手は埼玉県出身、2年前の2012年からジェフ市原・千葉のミッドフィールダーとして大活躍中。サッカーファンの子もたちに絵本「わんぱくだんのはしれ! いちばんぼし」「うしろにいるのはだあれ」「ちびっこサッカー」「だるまさんの」の4冊の読み聞かせを行い、子どもたちも絵本の世界にぐっと引き込まれました。広場でシュート、パスのコツを披露する予定でしたが、この日はあいにくのお天気でしたので、室内で楽しみました。選手から受けたボールに、手ごたえを感じたのではないのでしょうか。

ぬいぐるみおとまり会



子どもたちのお気に入りのぬいぐるみをお預かりし、夜の図書館を探検する様子や本を選ぶ様子を職員が撮影し、お迎えに来た子どもたちに、ぬいぐるみが選んでくれた本の貸し出しを行いました。2年前の平成24年から始まったイベントですが、今回も多くぬいぐるみが集まりました。子どもたちは、「なぜ、ぬいぐるみはわたし(ぼく)の好きなことをよく知っているの?」と興味津々でした。

人形劇

毎年恒例の、人形劇団Zさんによる人形劇が上演されました。今年の演目は「北風のくれたテーブルかけ」。当日は、開演前から早くも行列ができる人気ぶりでした。

魔法のテーブルかけをめぐるストーリーに、はらはらドキドキしたり、人形たちのユーモラスな動きに笑ったりと、参加したお子さんたちは夢あふれる人形劇の世界を楽しんでいました。

フラ板でしおりをつくろう

出来上がりを想像しながら絵を書きました。オーブントースターで焼くときに想像よりずっと小さく縮むので、自分の作品がどうなるのかときどきしながら見守るのも楽しく、みんなで和やかに作ることができました。



左側は描いた原画。そのまま縮むと、右側のしおりに変身します。

「現代市原の歌人たち」



『市原歌人会 年刊歌集』平成25年版

夕日さす廊下に座り産土の畑に育ちし唐黍を食む
(P.47 「古りし家 野城千鶴」より)

市原歌人会は今年発足24年、毎年歌集を出されています。
万葉の時から千二百年たった今の歌人(うたびと)たちの歌からは、情緒豊かで、生命の強さを感じます。
古の歌だけでなく、現代の歌人たちの瑞々しい歌もお楽しみください。

たまの寝言 夏の巻
～悲しみを抱きしめる愛～

あしがき くまど わぎも こ
蘆垣の隈所に立ちて吾妹子が

袖もしほほに泣きしぞ思はゆ

『万葉集』卷二十の四三五七



この歌は、今から千二百六十年ほど前に、国防のために市原から九州へ防人(さきもり)として派遣された刑部直千国(おさかべあたいちくに)が、集合場所であった難波(なにわ)の湊までの旅の間に詠んだ和歌です。当時、九州までの往復の旅は、命がけのことでした。きっと、自分たちの身の回りには帰ってこなかった人もいたことでしょう。故郷を離れた千国は、蘆の垣根の片隅に隠れるようにして、袖もしおしおと濡れるにまかせて噺(むせ)び泣いていた妻の姿を、幾晩も思い出していたのだと想います。

『万葉集』は、皆さんもご存知のとおり、日本を代表する現存最古の和歌集です。成立以来、千年以上の時を経てもなおお色あせることなく大切に伝えられ、今でも親しむことができるのですから、何て素晴らしいことでしょうか。古代の人々の心の豊かさを、証するものに思えてなりません。分けても、その中であって市原出身の刑部直千国の歌が選ばれていたのですから、私たちにとっても誇らしいものと言えましょう。

千国は、歌人ではありません。彼の歌は、市原の自然豊かな風土と、妻の愛によって生まれたものです。すてきですね。そしてその愛とは、万葉集の研究者中西進さんの言葉を借りるなら、「悲しみを抱きしめる愛」でした。妻は、夫の前で泣いていません。むしろ笑顔で送り出してくれたことでしょう。それゆえに千国もまた、絶対に生きて戻るとの決意を胸に九州を目指したに違いないのです。この歌は、遙かなる時を超えて、斉藤茂吉の『万葉秀歌』(岩波新書)にも選ばれています。茂吉がどんな評価をしているのか。それは、あなたご自身に調べていただくことにしましょう。図書館でお待ちしています。それでは次回までごきげんよう。(たま)

文学のとびら

文学賞情報

- 4月発表 第32回 向田邦子賞 『ごちそうさん』 脚本家 森下 佳子
第45回大宅壮一ノンフィクション賞 『市場と権力改革に憑かれた経済学者の肖像』 佐々木 実
第21回 松本清張賞 『推定脅威』 未須本 有生
第33回 新田次郎文学賞 『パウルを探して』 川内 有緒
第11回 本屋大賞 『村上海賊の娘』 和田 竜
- 5月発表 第40回 川端康成文学賞 『すっぱん心中』 戊井 昭人
第25回 伊藤整文学賞(小説部門) 『渡良瀬』 佐伯 一麦
(評論部門) 『国境』(完全版) 黒川 創
第43回 児童文芸新人賞 『星空点呼 折りたたみ傘を探して』 嘉成 晴香
第27回 三島由紀夫賞 『自分を好きになる方法』 本谷 有希子
第27回 山本周五郎賞 『満願』 米澤 穂信

主要文学賞カレンダー（このあと、どんな作品が受賞するのでしょうか。）

<p>7月</p> <p>芥川賞(上半期) 直木賞(上半期) 小学館ノンフィクション大賞 開高健ノンフィクション賞</p>	<p>8月</p> <p>谷崎潤一郎賞 講談社絵本新人賞 日本随筆家協会賞 中央公論文芸賞</p>	<p>9月</p> <p>すばる文学賞 新潮ドキュメント賞 講談社エッセイ賞 新潮新人賞</p>
<p>10月</p> <p>菊池寛賞 泉鏡花文学賞 日経小説大賞 文学会新人賞</p>	<p>11月</p> <p>柴田錬三郎賞 野間文芸賞 毎日出版文化賞 坊ちゃん文学賞</p>	<p>12月</p> <p>日本SF大賞 日本SF新人賞 大佛次郎賞 歴史文学賞</p>
<p>1月</p> <p>芥川賞(下半期) 直木賞(下半期) 坪田譲治文学賞</p>	<p>2月</p> <p>中原中也賞 横溝正史ミステリ大賞 読売文学賞</p>	<p>3月</p> <p>日本絵本賞(大賞) 吉川英治文学賞 寺山修治短歌賞 日本絵本賞(読者賞)</p>

《中央図書館利用案内》

- ★開館時間 午前9時30分～午後5時
※水・金曜日は一般開架室のみ午後7時まで
ただし、祝日の場合は除く
※児童室・視聴覚カウンターは全日5時まで

★休館日

- 毎週月曜日
毎月平日最終日(月末図書整理日)
特別整理期間(蔵書点検等)
年末年始(12月29日～1月3日)

★貸出冊数・貸出期間

- 図書・雑誌 10冊まで
視聴覚資料 2点までいずれも2週間

★初めてカードを作るには

- 住所氏名の確認できるもの(運転免許証等)
をお持ちください。